



三寶寺寺報 第一八〇号
 二〇〇三年五月一日発行
 発行人 目崎 薫(三寶寺住職)
 伊勢原市沼目三 十二 二
 TEL 0463 9933
 FAX 0463 9933
 購読料 年三〇〇〇円(年・送料込)
 郵便振替口座 一〇二〇〇〇六一〇五八五三二
 〒259-1126



2003年 ^{さんぼうじ}三寶寺花まつり・^{にゆうさんしき}入参式

仏陀は、この世はすべて無常であり、人生は苦であると説いたように、多くの人々が思われているが、それはまちがいで、まだ目覚めない無明の意識には、無常で苦であるように見えるが、正覚の智しよがくがあらわれると、無明の意識が消えるので、無常も苦も消え、常住・安樂の実相が見え、その人も内から変わって法身の人になる、と教えたのである。

「大信海」45号 稲津紀三著

三寶寺掲示板 五月
 自己を見つめるこころ
 こころの湯きが
 創作の原点

江里 康慧

滅苦証樂
 ひと苦しいのきとと
 知ること救われ
 ひと悲しいの奥
 国々人々の強い望みこそ
 国々云と云とに
 滅苦証樂が
 あらわれる
 江里